

3. 塩蓋の場合は隙間がないように密封し通風のよい冷蔵所に貯蔵する（隙間よりしゅうじょうばいの浸入により蛆が発生する）
4. 締結後3～4週間1回は開蓋して製品の状態を見る必要がある。
5. 上記の結果から塩量は原料に対し3割程度であるが夏期に於ける長期貯蔵の場合には3.5割が適当であると思われる。

(3) 琉球近海に於ける有用介藻類及び棘皮動物の棲息状況調査

琉球近海に於ける有用介藻類・棘皮動物の棲息状況を調査して将来これ等の利用開発の資料に供すんがため昨年度より継続して実施した。

1. 伊是名村沿岸

1. 調査場所及び期間

場所	伊是名村沿岸周辺		
期間	1956年5月20日～23日	4日間	
調査方法	現場踏査及び漁民により問取調査		

2. 生産調査

類 別	盛 産 期	年間生産量及び概数	利用価値の適否	備 考
も づ く	3月～4月	不 明	自 家用	
あ を さ	3月～4月	不 明	“	
な ま こ	7月～8月	3300斤	“	
ばふんうに	8月～9月	4300斤	“	
高橋広瀬三貝	夏 期 間	1300斤		

3. 調査地区内に於ける水産加工業者の有無

琉球もづく、 戦前は一部漁者が塩蔵して、那覇輸出業者に販売したが現在は皆無。

4. 調査経過

(1) 琉球もづく、あをさ(ひとえぐさ)資源について

琉球もづく、あをさ(ひとえぐさ)は時期外で見受けられなかったが、もづくは那覇客、仲田、話見地先の砂浜地帯に定期的に広範囲に繁茂するようである。戦前は一部業者により塩蔵もづくとして利用されたが現在は利用者なく、地元民はこれを酢漬として食用としている。

あをさ(ひとえぐさ)も同様おかず巻皮として使用されているようである。

(2) なまこ資源について

なまこ類は島の西北岸の屋那須島、具志川島、家の下島一帯の岩礁地帯が主産地で豊富に棲息し、其の種類も「じのめなまこ」「ふじなまこ」「あかろしきり」「くろなまこ」「きんこ」(濃紫色、黄白色)等6種類で主として「じやのめなまこ」が主位を占めている。

従来地元民は酢味噌にして使用されているようであるが今後の加工利用面に大きく期待しているようである。

(イ) 貝類について

貝類は高嶺広瀬、玉貝が主で俗称家の下、内花(具志川島)諸見地元一帯の2号~3号に棲息し採取量は1500斤程度で将来企業化すれば2000斤~2500斤程度は確実と云われている。

貝殻は個人集荷をなし、輸出業者へ販売する。貝肉は自家用として使用せられている。他に琉球あこや貝、あまをふね等が群棲しているが琉球あこや貝の天然真珠は戦前商人が1珠50銭~1円程度で買取ったようであるが現在は買取業者がなく、放置の状態にある。

(ロ) ばふんりに資源について

「ばふんりに」は諸見、勢理客、内花地元が生産地で広範囲に棲息して成熟期は5月~6月頃に身入状態もよく成熟期の大潮時には浴女子はこれを採捕煮熟して食用としているようである。当村駐在員の話によると加工面に相当関心を持ち幾度も塩辛を試みたが失敗したようで、これが家庭加工業としての利用面に相等期待しているようである。

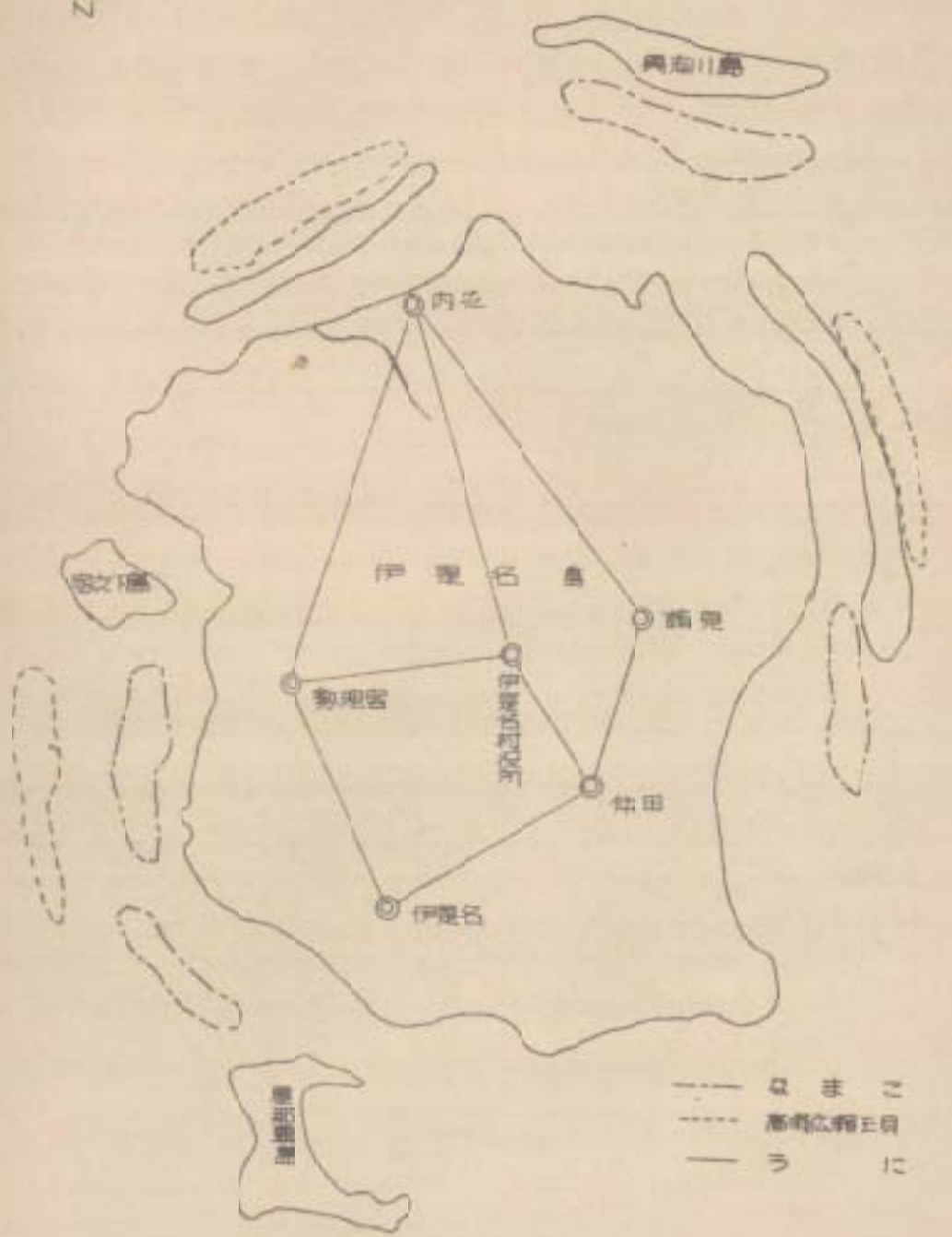
結 び

この地区は主として半農半漁であるが時期的に資源が豊富であり、是等介類の加工面に相等関心を持っているようである。

うに塩辛、乾うに、なまこ類及び藻類について加工指導を行えば生産を増し漁民の福利を増すことが出来ると思われる。

布 羅 島 諸 島 航 路 圖

2



- なまこ
- - - 高崎公船三日
- うに

II 座間味村地元に於ける水産資源

1. 調査場所及び期間

場 所 座間味地元、阿佐地元、阿真地元、阿嘉地元
 期 間 1957年3月15日
 方 法 踏査による

座間味地元	阿佐地元	阿真地元	阿嘉地元
海産類			
おかしをく(焼けたもの) らつばもく()	太もづく、海人草	おかしをかさ ひとえぐさ	おかしをかさ ぼたがら らつばもく、うみうむ
はんだまら、うみうちわ うるひのき、太もづく	其他は前場所と同じ	其他前場所と同じ	太もづく、ひとえぐさ、みるし 海人草、さぼこ
ひとえぐさ			んぼ、あじも、まやにし き、岩のり
海産類			
もくよくかいめん つばあみかいめん			
むらさきかいめん			
蟹 類			
おめいりむり(座間味校 標本)からいしかに			
貝 類			
めんがえ、うみざく、ひまざき あかいかい、けい	前場所と同じ	前場所と同じ	しやこ貝、ひめじやこ、 あをかい、うしのあし
しやこ貝、ひめじやこ (とさかおら、いすがき)	くろもようかい、ぬのめかい、 丸球はかかい、まがき貝		
あまかい、ししのあし とこぶし、べにしりだか	しやこ貝、ほし貝、ち ようせんさどえ		
ちようせんさどえ、あまかい類 たから貝類、まがかい			
(いもがれ科)			
軟 皮 動 物	うに類、なまこ類		
むらさきだこ、せみえび			

註. ○印は陸揚げスタラップより持参標本

阿嘉地元北岸は岩のりを産するとのことだが量は不明

座向味打沿岸圖

